

年号（西暦）	おもなできごと
明治 29 年（ 1896 ）	大住・洵綾両郡を合併して中郡と改め、郡役所を大磯町に置く。
	伊藤博文、大磯町に滄浪閣を建て、町民となる。
明治 33 年（ 1900 ）	大磯町に電気供給開始。
明治 35 年（ 1902 ）	大磯郵便局、電話交換業務の取り扱いを開始(加入者:10戸)
明治 36 年（ 1903 ）	大磯漁業組合が設立される(現在の大磯町漁業協同組合)。
明治 40 年（ 1907 ）	国府村に電気供給開始。
大正 12 年（ 1923 ）	関東大震災(死傷行方不明約245人、家屋全・半壊約1,025戸)。
大正 15 年（ 1926 ）	大磯小学校に大磯幼稚園を併設。
	中郡役所廃止。
昭和 2 年（ 1927 ）	大磯小学校に町立大磯実科高等女学校(現県立大磯高等学校)を併設。
昭和 11 年（ 1936 ）	江の島入口・大磯間の湘南遊歩道路開通。
昭和 9 年（ 1934 ）	県営水道、大磯の一部に給水開始。
昭和 11 年（ 1936 ）	照ヶ崎海岸にプール完成。
昭和 15 年（ 1940 ）	国府郵便局開局。
昭和 20 年（ 1945 ）	米軍機の空襲を受け、寺坂地区の大半を焼失。
昭和 22 年（ 1947 ）	エリザベス・サンダースホーム設立。
昭和 23 年（ 1948 ）	町立図書館開館。
昭和 27 年（ 1952 ）	国府村は国府町となる。
	教育委員会設置。
昭和 29 年（ 1954 ）	大磯カーニバル始まる。
	大磯町と国府町が合併、大磯町となる。
昭和 30 年（ 1955 ）	町立国府保育園開園。
昭和 31 年（ 1956 ）	二宮英雄選手がメルボルンオリンピックに出場。
	大磯文化史発刊。
昭和 34 年（ 1959 ）	町立国府幼稚園開園。
昭和 35 年（ 1960 ）	大磯町商工会が設立される。
昭和 38 年（ 1963 ）	大磯バイパス完成。
昭和 39 年（ 1964 ）	大磯ホテルが東京オリンピックのヨット選手村となる。
	町章制定。
昭和 41 年（ 1966 ）	西湘バイパス大磯地区が開通。
昭和 43 年（ 1968 ）	消防署開署。
	米国オハイオ州デイトン市と姉妹都市を締結。